

1. 第34回 春季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会 開催要項

1. 大会名 第34回 秋季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会
2. 主催 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHf と呼ぶ)
3. 主管 KIHf 競技本部小中女子競技委員会・普及委員会
4. 後援 相模原市スケート協会
5. 開催期日 2024(令和6)年 4月20日(土)～ 4月21日(日)
6. 会場 相模原市 銀河アリーナ(相模原市中央区弥栄 3-1-6 淵野辺運動公園内)
横浜市 横浜銀行アイスアリーナ(横浜市神奈川区広台太田町 1-1)
7. 参加資格 神奈川県アイスホッケー連盟(以下 KIHf と呼ぶ)
[少年][女子]に2024年度登録をしているチーム及び選手と役員
注1 大会参加チームの選手・役員は「日ア連 Face-Off システム」により
2024年4月10日までに県連宛到着したものを有効とし、大会出場を認める。
注2 大会参加費および日ア連登録費未納チームは本大会については失格とする。
失格となったチームは第34回春季神奈川県小中学生女子アイスホッケー選手権大会
への参加資格を有しない。
注3 県内[少年]登録チームは所属する選手について、大会期間中は県内チーム間での
移籍は原則認めない。
注4 審議委員会に於いて出場停止等処分を受けたチームに所属した者は
たとえ他チームに移籍しても当該処分が終了するまでは、同処分が継承される。
注5 不参加の連絡は、[info]の後に「@kihf.net」までmail連絡する事。
8. 参加チーム 【小学生高学年の部】
新横浜ジュニアA、新横浜ジュニアB、ヨコハマスターズ、アイリズ、
LP/BB/慶應 Jr 合同
【中学生の部】
新横浜ジュニア、ヨコハマスターズ、アイリズ
【女子の部】
昭和大学ブルーウィングス、ハセガワウィチーズ、ヨコハマスターズブルーベル
BBレディース
9. 参加申込 チーム参加を2024年4月10日迄に info@kihf.net 宛てに申し込み、
選手登録は2024年4月10日迄に日ア連 Face-Off システムにおいて完了させること。
10. 参加費 クラス毎に別途設定した参加費を下記口座へ
2024年4月15日(月)までに振り込むこと。
なお期日までに入金確認の取れないチームは出場を認めない。
振込先：横浜銀行 本店営業部 普通口座 6097936
神奈川県アイスホッケー連盟 ハセガワ ノリヒコ
11. 審判団 KIHf レフェリー委員会 日本アイスホッケー連盟登録レフェリー
12. 競技規則 下記に記載するローカルルールを除き原則として
国際アイスホッケー連盟(IIHF)国際競技規則に基づく。
 - ローカル・ルール
 - a. 試合日程表の左側チームを仮ホームチームとし、ベンチは本部席より見て左側になる。
 - b. ホームの決定は、試合前のパクトスで決定する。(仮ホームが表裏を選択する)
 - c. ベンチには、GT2名・スケーター20名の計22名、役員8名まで入る事が出来る。
 - d. ユニフォーム・ストッキングは同一チームの場合、ヘルメット・パンツは同色のもので

揃える事。ただし、合同チームの場合は所属チームのユニフォーム、ヘルメットを着用とする。その際は、背番号が重複しない事とする。

(1) レフェリーの判断により、ベスト着用のみとする場合もある。

(2) 参加チームはスポーツ安全保険もしくは同等の補償の保険に加入しなければならない。

(3) オールメンバー表は試合開始 20 分前までにオフィシャルへ提出すること。

e. タイムスケジュールの試合開始時間は、目安の時間としています。

前の試合が早く終わった場合は最大で 30 分前倒して試合を開始する場合があります。

13. 競技時間

【共通】

練習 5 分、各ピリオド正味 15 分、各ピリオドインターバル 3 分。

タイムアウトはあり。

試合中点数差が 7 点以上ついた場合は、次のフェイスオフよりその試合終了までランニングタイムにて行う。その場合、試合終了 2 分前からはストップタイムとする。

なお、点差が縮まった場合も継続とする。

ランニングタイムでも次の場合は時計を止めるものとする。

・ 反則発生時に止めるが次のフェイスオフからスタートする。

・ 選手が負傷し交代に時間を要する場合やチームからの質問などで時間を要する場合などレフェリーの指示があったときは止めるが、次のフェイスオフからスタートする。

14. 順位

【中学生の部】

a. 勝ち点制とし、勝ち点の多いチームから順位づけする。

b. 勝ち点は、勝ちチーム 3 点、引き分けには各 1 点を与える。

c. 勝ち点が同一の場合、勝利数の多いチームを上位とする。

d. 勝ち点と勝利数が同一の場合は、次の規定の順番で上位を決定する。

・ 当該チームの対戦成績

・ 当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの

・ 全試合の得失点差の大なるもの

・ 全試合のパナルティ回数の大なるもの

【小学生高学年の部】 【女子の部】

a. すべての試合トーナメント戦とする。小学生の部は 1 回戦敗退チーム同士交流戦を行う。女子の部については順位決定戦を行う。

b. 第 3 ピリオドを終了して同点の場合は、ただちに 3 名ずつの PSS を行う。

15. オフィシャル当番

(1) オフィシャル当番チームは、オフィシャルスコアキーピングとルールに精通した者でその任に当たり、責任持って終了させる。

オフィシャル当番はスケート靴持参(6 名以上)で試合開始 30 分前に集合し準備を開始すること。

(2) オフィシャル当番が遅刻・欠席・人数不足等によりその任務を履行できなかったと大会役員により判断された場合、審議委員会において罰則を科す。

(3) 罰則の範囲は不履行により再試合となった場合、その費用負担から無期限の出場停止までとする。また、試合終了後 10 分以内にゲームシートを完成させること。

16. レフェリー

小学生の部、女子の部についてレフェリー 3 人制、中学生の部については、レフェリー 4 人制で行うことを原則とする。

17. スーパーバイザー

- ゲームを円滑に運営することを目的として、各ゲームにつき 1 名ずつスーパーバイザーを置く。
- スーパーバイザーは、ゲームの運営に関し、会場関係者・レフェリー・オフィシャルと協調あるいは指示を出しその任に当たる。
- スーパーバイザーは、オフィシャルチームから 1 名派遣する。

18. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手は所定の用紙を持ってスーパーバイザーに届け出ること。
傷害に関するデータは医事委員会に報告され、用具やルール改善の基本資料として活用される。
試合中に傷害を負った選手に対しては、所属チームが責任を持って対処すること。
また、スポーツ傷害保険に各チーム個別に付保すること。

19. 懲戒委員会

委員長：中島 透

委員：伊藤 一， 内田 貴典， 佐々木 暁， ほか1名

20. その他

要項に記載されていない不測の事態が発生した場合は、KIHf 競技委員会にて別途協議する。
春季小学生低学年選手権については別日開催とする。